

2021年9月14日

長野県知事

阿部 守一 様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

9月県議会にむけた申し入れ

- 1, コロナ感染が急増し医療体制がひっ迫、自宅療養者が増えています。自宅療養者への連絡や健康観察、食事提供など万全のフォロー体制をとってください。
- 2, 感染者の早期発見・保護のために、県が地域と期限を限定して実施している社会的検査の対象をさらに拡充し、全県的な大規模検査を実施してください。
- 3, 限られた医療資源を最も効果的に活用するために、感染拡大の最大時に対応できる臨時の医療機関設置を準備してください。
- 4, 飲食業などへの営業時間の短縮・休業協力金は、経営が限界に達している事業者にしっかり支援が届くように増額してください。また、国に家賃補助支援金や持続化給付金の再支給を求めてください。
- 5, 国の制度の対象外になった事業者への「新型コロナ中小企業者等特別応援金支給事業」については、さらに対象期間が延長され額も倍になったことは歓迎しますが、減収率の条件を3割程度に引き下げて事業者を支援してください。
- 6, 児童に感染が広がっているなか、放課後児童健全育成事業が安全に行われるように従事者や利用者の抗原検査などを行うとともに、学校の空き教室の活用などで密を解消する方策を市町村と検討してください。

- 7, 先ごろの大雨・豪雨により県内でも尊い人命が失われ、道路や河川の決壊、床上・床下浸水や林地、農地の崩壊などが多発しました。危険カ所の点検の実施、堰堤の浚渫など早期の対策や住民への情報提供などの改善が求められています。また、災害復旧は原状回復だけでなく地元住民の声をしっかり聞いて改良復旧をすすめてください。激甚災害指定の要望が出ている自治体に対し指定が可能となるよう支援をしてください。
- 8, 今回の災害では「コロナ感染が心配で避難所に行けなかった」という声や、毛布1枚では寝られない、温かいものが食べたいなど避難所環境についても要望が出されています。市町村に運営ガイドラインを徹底するとともに、力を合わせて避難所の設置・運営の改善、見直しを進めてください。また県・市町村の避難所の備蓄品の拡充に取り組んでください。
- 9, コロナ禍で貧困の広がりが深刻です。県の生活困窮者への食料支援を強化するとともに、各種団体の支援活動が十分に成果を上げられるように団体からの聞き取りを行って支援を強めてください。

以上